

令和5年度 第63回関東ブロック

保育研究大会 開催要綱



期日

令和5年7月26日(水)
～27日(木)

会場

1日目: パシフィコ横浜 国立大ホール
2日目: パシフィコ横浜 アネックスホール・ノース

令和5年度 第63回関東ブロック保育研究大会 開催要綱

1 主 題

「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして

2 開催趣旨

「新子育て安心プラン」が策定されてから2年が経過し、待機児童問題は、解消に向かいつつあります。一方で、人口減少が進んでいる自治体、保育所・認定こども園等での定員割れが発生している自治体など、地域ごとに状況が異なり、それぞれの地域における保育者、保育所・認定こども園等のあり方が検討され、今後は地域の特性に応じたサービスの提供が求められます。

令和5年度は、こども基本法の施行、さらには、こども家庭庁が設置され、新たに法制度が加味された中で、子どもの権利や育ちの保障が求められることとなりました。

これらの背景に加え、人材不足は深刻化し、業務量の増加等保育者の負担は増加しています。専門職として質の高い保育を提供するため、保育者の処遇改善や働く環境及び地位の向上には、関係機関が一丸となって取り組むことが重要です。

保育者は、さまざまな保育に関わる制度動向や保育に求められる責務について常に意識し、認識を深め、保育の社会的な意義・役割をあらためて確認したうえで、日々取り組みを充実させなければなりません。

加えて、養護と教育の実践の下にこれまで培ってきた保育の営みの大切さを、いまいちど広く社会へアピールする必要があります。

保育をめぐる情勢をふまえ、すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現にむけた私たち保育者の姿勢を広く社会に発信できるよう、多様なテーマでの研究協議を深め、先駆的、効果的な実践を学びあうことにより、保育・子育て支援の拡充につなぎ、保育実践の質の向上をめざすことを目的として本大会を開催します。

3 主 催

横浜市、横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、横浜市社会福祉協議会、横浜市保育士会、
関東ブロック各都県指定都市、関東ブロック各都県指定都市社会福祉協議会、関東ブロック保育協議会

4 後 援(予定)

内閣府、厚生労働省、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国保育協議会、全国保育士会

5 期 日

- ①全体会 令和5年7月26日(水)
- ②分科会 令和5年7月27日(木)

6 会 場

パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

- ①全体会 パシフィコ横浜 国立大ホール
- ②分科会 パシフィコ横浜 アネックスホール、ノース

7 大会運営

この大会を円滑に進めるため、主催各都県指定都市の保育協議会(部会)、保育士会(部会)、保育行政主管課、社会福祉協議会の代表者及び開催県の保育協議会会長が委嘱した者をもって構成する運営委員会を置く。

運営委員長は、開催都市である横浜市社会福祉協議会保育福祉部会会長を、副委員長は、横浜市社会福祉協議会保育福祉部会副会長、横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 人材育成・向上支援担当課長、横浜市社会福祉協議会事務局長をもってあてる。

運営委員長は、別に実行委員を委嘱し、実行委員会を置く。

8 大会役員

この大会は次の役員をもってあてる。

- ①分科会議長
「分科会議長割当表」により指定された都県指定都市の社会福祉協議会または保育協議会等から推薦のあった者をあてるものとし、各分科会の議事を行う。
- ②大会幹事
運営委員長が委嘱し、分科会の進行にあたる。

9 分科会助言者

運営委員長は、分科会ごとに1名の助言者を委嘱する。

10 参加者

1,300名 この大会の参加者は次のとおりとする。

- ①保育所・認定こども園等関係者
- ②保育行政機関、保育士養成校関係者
- ③社会福祉協議会関係者
- ④学識経験者
- ⑤保護者、その他保育事業関係者

1 1 参加費・負担金及び参加申し込み

○参加費 1人 10,000円

※大会資料は大会ホームページより各自でダウンロードしてご用意ください。

紙の資料をご希望される場合は、資料代として入金時に別途1,000円をお支払いください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催方法等を見直す可能性があります。

○負担金 各都県指定都市 100,000円

1 2 申し込み方法

(1) 下記の申込サイトからお申し込み手続きをお願いします。

《申し込みサイトURL》

(URL : <http://www.mwt-mice.com/events/kntbhoiku63>)

〔申込受付期間〕令和5年3月13日(月)～4月28日(金)

※本サイトは主催者が取りまとめ・参加費徴収の事務を委託する下記の業者で作成されたページです。二次元コードからも申し込めます。

※大会特設ホームページからも申し込めます。

(URL : <https://www.63kantoyokohama.com/>)



(2) 申込内容入力完了後、登録されたメールアドレス宛に自動の「申込受付完了メール」が届きます。

※「申込受付完了メール」には参加費の振り込みのご案内を記載しておりますので、ご確認ください。

※@mwt.co.jpからのメールが受信できるよう、あらかじめ設定をお願いいたします。

※翌営業日を過ぎても「申込完了メール」が届かない場合は、迷惑メールフォルダにも未着なことをご確認の上、名鉄観光サービス(株)横浜支店まで必ずご連絡ください。

(3) 原則、請求書は発行いたしません。案内メールに基づき、お申込み日から2週間以内に参加費のお振込みをお願いいたします。

(4) 参加費入金確認後、6月下旬を目安に参加証を郵送でお送りします。

(5) お申し込み後の取り消しについて

原則、ご入金後の参加費は返金できかねますのであらかじめご了承ください。

1 3 お問い合わせ先

(1) 開催内容に関すること

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 社会福祉部 施設福祉課 保育福祉部会

「第63回 関東ブロック保育研究大会」事務局

(TEL) 045-201-2219 (FAX) 045-201-1661

(メール) hoiku@yokohamashakyo.jp

(2) 参加申込・参加費のお振込み等に関すること

名鉄観光サービス株式会社横浜支店 「第63回関東ブロック保育研究大会」係

担当：出口・矢島

営業時間：平日 10:00～17:00・土日祝日休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町4-52 横浜野村証券ビル5階

(TEL) 045-641-4166 (FAX) 045-641-4169

(メール) yokohama@mwt.co.jp

14日程

【1日目 全体会】

7月26日(水)	
会場/パシフィコ横浜国立大ホール	
受付	11:30~
オープニング	12:10~12:40
開会式	12:50~13:50
基調講演	13:50~15:20
休憩	15:20~15:30
記念講演	15:30~16:50
次期当番県挨拶	16:50~17:00
1日目終了	17:00

【2日目 分科会】

7月27日(木)	
会場/各分科会会場(パシフィコ横浜内)	
受付	9:00~9:30
分科会討議	9:30~15:00
閉会	15:00

時間 日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
7/26 (水)				受付 11:30~ 運営委員会 11:30~ 12:30	オープニング アトラクション	開会式	基調講演	休憩	記念講演	次期当番県挨拶	閉会	分科会打合せ 17:30~ 18:30
7/27 (木)	各分科会受付 9:00~ 9:30	分科会		昼食	分科会			処理委員会 15:30~				

15 研究方法

- ①全体会 初日の全体会は、基調講演及び記念講演を行う。
- ②分科会 研究テーマに基づき、各都県指定都市からあらかじめ提出された代表意見を中心に研究討議を行う。意見の発表時間は1人30分以内とする。
あらかじめ議長・助言者及び幹事を主催者が委嘱し、分科会の運営にあたる。

16 オープニングアトラクション

演 舞：横濱中華學院 横濱中華幼保園の皆様

横濱中華學院 横濱中華幼保園の皆さんによる、龍舞の演技を横浜への歓迎の思いを込めて披露していただきます。開会前の活気あふれるひと時をぜひお楽しみください。



～横濱中華幼保園 龍舞について～

当園の龍舞は1998年より台湾伝統文化の継承に尽力されている謝賢榮老師に5歳児を中心に毎週専科として、指導していただいております。

練習の前には、

龍舞の心 「一人は皆のために、皆はひとりのために」
「あやまる勇氣ゆるすやさしさ」

感謝の心 「ありがとうございます」と声を合わせ、

気持ちを一つに集中します。またクリスマス会・卒園式はもちろんのこと、地域でのパレードなどに参加し日頃の練習の成果を地域の方、保護者の方に見ていただき、ドキドキする気持ちや達成感を味わえる良い機会となっています。2013年には横浜アリーナで開催された全国的な保育大会に園児600人とオープニングを飾りました。

17 基調講演

講 師：白梅学園大学名誉教授 無藤 隆 氏

テーマ：乳幼児の心もちを大切に～保育者に期待されることとは～

東京大学教育学部卒業、東京大学教育学研究科博士課程中退、東京大学新聞研究所助手、聖心女子大学助教授、お茶の水女子大学教授、白梅学園大学学長・教授などを経て現在。社会的活動日本質的心理学会理事長、日本発達心理学会理事長、文部科学省中央教育審議会教育課程部会長、内閣府子ども・子育て会議会長などを経て、現在、国立教育政策研究所上級フェロー、日本乳幼児教育・保育養成学会理事長など。主な著書「幼児教育のデザイン」(東京大学出版会)、「3法令ガイドブック」(共著、フレーベル館)、「新しい教育課程におけるアクティブな学びと教師力・学校力」(図書文化)、「心理学」(共著、有斐閣)など、著書多数。



講師：ミュージシャン&マジシャン&翻訳家 大友 剛 氏

テーマ：マジックと音楽と絵本～子どもの世界を彩る3つの魔法～



ミュージシャン&マジシャン&翻訳家。自由の森学園卒業後、アメリカ・ネバダ州立大学で音楽と教育を学ぶ。「音楽とマジックと絵本のコンサート」で活動。翻訳絵本に「ねこのピート」(ひさかたチャイルド)、「カラーモンスター」(永岡書店)。映画「夢みる小学校」でお馴染み「南アルプス子どもの村小中学校」で音楽を担当。東日本大震災後、被災地に音楽とマジックを届けるプロジェクトを設立、全国の被災地で展開。子どもの自殺のない社会を目指し、保育、教育の垣根を超えて、対話する場を作っている。



19分科会

分科会は8分科会及び特別分科会とし、それぞれのテーマ、研究方針、研究の視点は次のとおりとします。

＜第1分科会＞ 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～

〔助言者〕 鶴見大学短期大学部 保育科 教授 天野 珠路 氏

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性(の認定)」に基づいて、保育が提供されます。

また、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとの子ども・子育て支援法の趣旨から、認定こども園制度を改め、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設されました。

保育所は、これまで保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめてきました。認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育が展開されます。

本テーマでは上記実践のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

＜第2分科会＞ 配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

〔助言者〕 帝京短期大学 こども教育学科 准教授 五十嵐 元子 氏

保育所・認定こども園等では、発達障害、医療的ケア児、要保護児童など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本テーマでは、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてのかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて研究を深めます。

＜第3分科会＞ 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

〔助言者〕 関東学院大学 教育学部 こども発達学科 准教授 三谷 大紀 氏

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。

子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

＜第4分科会＞ 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

〔助言者〕 鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 准教授 寶川 雅子 氏

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、新たな幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。

一方で地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

＜第5分科会＞ 子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた
関係機関とのネットワーク

〔助言者〕 NPO法人こどもと未来—おひさまでたよ— 理事長 土谷 みち子 氏

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

＜第6分科会＞ 家庭や地域との連携による食育の推進

〔助言者〕 東洋大学 福祉社会デザイン学部 生活支援学科
非常勤講師・管理栄養士 太田 百合子 氏

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。そして食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要となります。

さらに保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

＜第7分科会＞ 保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

〔助言者〕 國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 准教授 山瀬 範子 氏

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

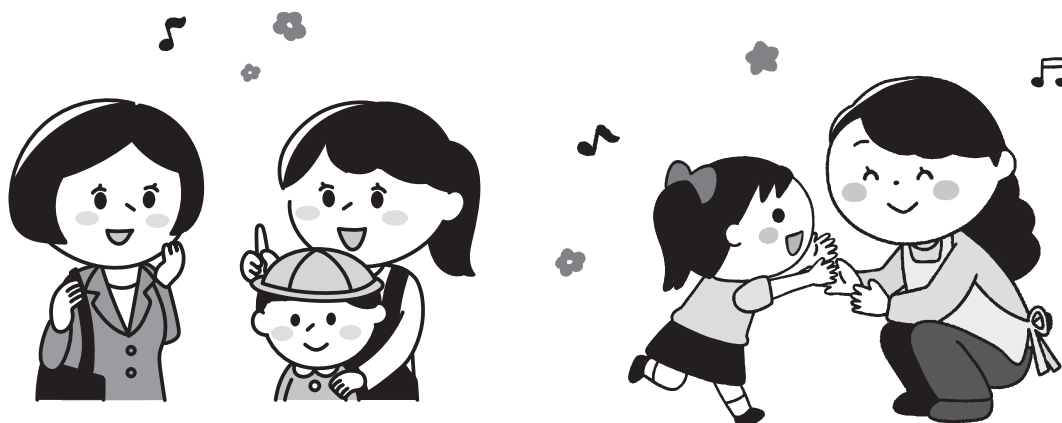
本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。

＜第8分科会＞ 公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

〔助言者〕 洗足こども短期大学 幼児教育保育科 教授 井上 眞理子 氏

保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、都道府県や市町村に保育制度・施策に関する責務が増大する方向性であり、保育の質やその実践において地域間格差が進むことが懸念されます。

本テーマでは、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割意識の普及、行政機関でもある特性を活かした具体的実践のあり方などについて研究を深めます。



＜特別分科会＞子どもと一緒に創るあそび歌～大切なことは子どもが教えてくれる～

講 師：保育シンガーソングライター 荒巻 シャケ 氏

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、これまでの生活様式の見直しが迫られ、保育現場においても、当たり前に行ってきた様々なことが、変更せざるを得ない状況となりました。オンラインの普及に伴い、利便性が増した一方、顔と顔を合わせる機会が減少したことにより、人とのつながりの大切さに改めて気付いたのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症流行後、初めての対面開催となる本大会では、直接顔を合わせることの喜びと人とのつながりを感じることもテーマの一つとなります。

この分科会では、保育シンガーソングライターとして活躍する荒巻シャケ氏を講師としてお招きし、遊びをとおしての関わり合いを体感してもらいながら、子ども達が「自発的に」あそび歌を楽しむようになるポイントを、子ども達の実践からお伝えしていきます。大切なことはいつも子ども達が教えてくれます!!

たかがあそび歌、されどあそび歌、皆さんと一緒に遊びつつ、子ども達の気持ちにより近づけるあそび歌のあり方について一緒に考えていきましょう。

※ハンカチまたはバンダナをご持参して下さい。



20 資料等の各都県指定都市の提出(納入)期限

- ①分科会における意見発表原稿 4月26日(水)
 ②都県指定都市負担金納入 5月10日(水)

21 参加者割当(予定)

区分	施設数	割当人数	率(%)	区分	施設数	割当人数	率(%)
新潟県	652	111	17	茨城県	510	81	16
相模原市	108	17	16	千葉県	785	124	16
千葉市	171	28	16	川崎市	170	27	16
栃木県	224	37	16	埼玉県	796	126	16
群馬県	386	63	16	長野県	543	85	16
山梨県	190	31	16	東京都	1,502	240	16
静岡県	622	100	16	横浜市	421	177	
神奈川県	335	53	16	合計	7,415	1,300	

22 分科会意見発表・議長割当

◎…意見発表割当 ○…議長割当 …令和5年度全国大会意見発表分担

分科会番号	1	2	3	4	5	6	7	8	特別	◎合計	○合計
新潟県		◎			○	◎				2	1
相模原市	○		◎	◎						2	1
千葉市		○			◎			◎		2	1
栃木県				○		◎	◎			2	1
群馬県				◎		○		◎		2	1
山梨県	◎					◎	○			2	1
静岡県		◎			◎			○		2	1
神奈川県			◎		○		◎			2	1
茨城県	◎			◎		○				2	1
千葉県			○				◎	◎		2	1
川崎市	○		◎		◎					2	1
埼玉県	◎		○	◎						2	1
長野県			◎	○				◎		2	1
東京都		◎			◎		○			2	1
横浜市	◎	○					◎	○	◎○	3	3
◎合計	4	3	4	4	4	3	4	4	1	31	
○合計	2	2	2	2	2	2	2	2	1		17